

概要

当別町は、札幌市と境界を接し、札幌中心部から約15～25kmに位置しており、面積は、422.86平方キロメートル。人口(令和4年12月1日住民台帳)は、15,338人である。

○地域公共交通の現況

- ・JR札沼線(当別駅、太美駅、北海道医療大学駅、ロイズタウン駅)
- ・当別ふれあいバス
地域間幹線系統: あいの里金沢線
地域内フィーダー系統: 青山線、市街地予約型線、西当別道の駅線
- ・月形当別線

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
- ・移動需要の減少と高齢化
- ・利便性の高い公共交通サービスの提供

○調査の主な内容

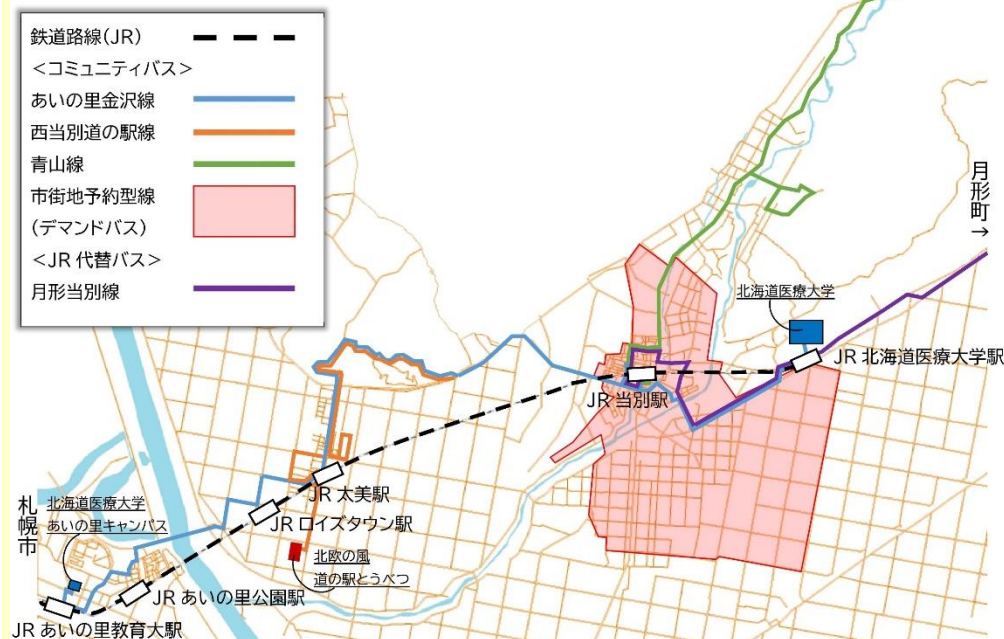
- ・利用実態調査(乗降調査・OD調査)
- ・関連事業者・施設等へのヒアリング調査(アンケート調査含む)

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和4年6月28日 第1回協議会を開催
主な協議事項: 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画他
- 令和4年10月10日 第2回協議会を開催
主な協議事項: 令和4年12月1日付けダイヤ改正について他
- 令和4年12月20日 第3回協議会を開催
主な協議事項: 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他

公共交通の概要

当別町公共交通路線図(令和4年度)



当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

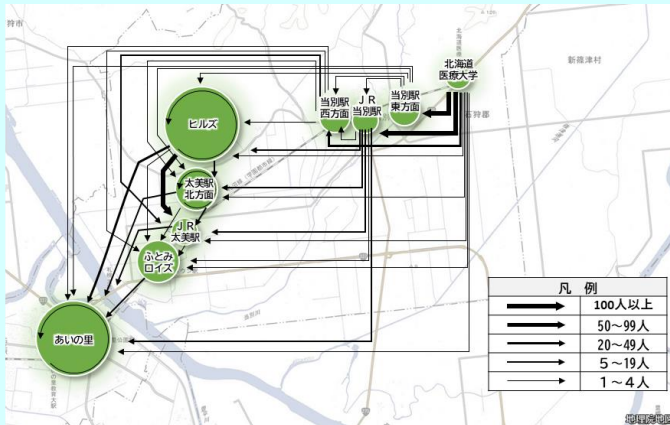
●事業の結果概要

○利用実態調査(乗降調査・OD調査)

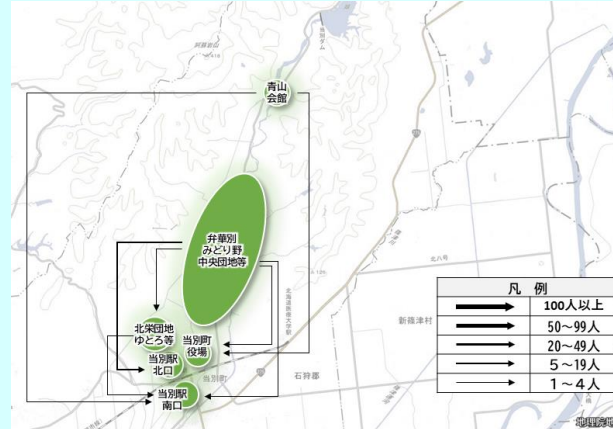
町内のJRの駅に調査員を配置し、乗降調査を実施した。また、町内のコミュニティバス車内に調査員を配置し、OD調査を実施したことにより利用実態を把握した。

【OD調査結果】

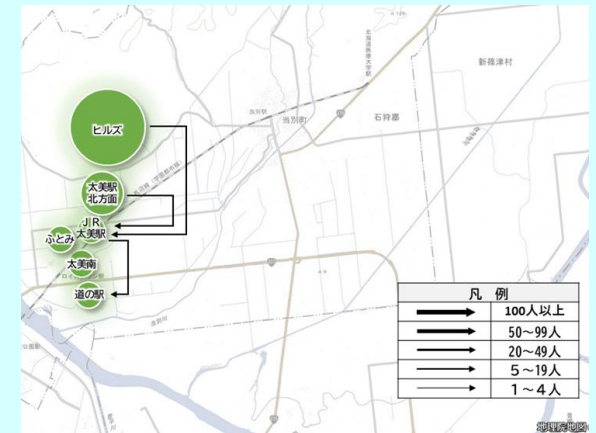
あいの里金沢線



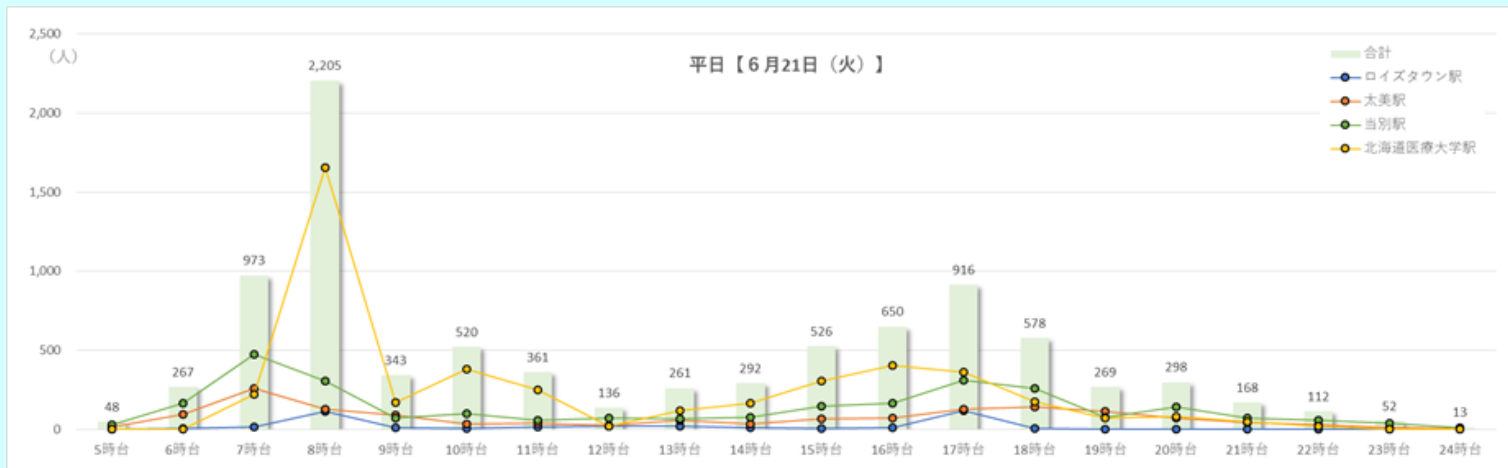
青山線



西当別道の駅線



【JR学園都市線時間帯別利用者推移】



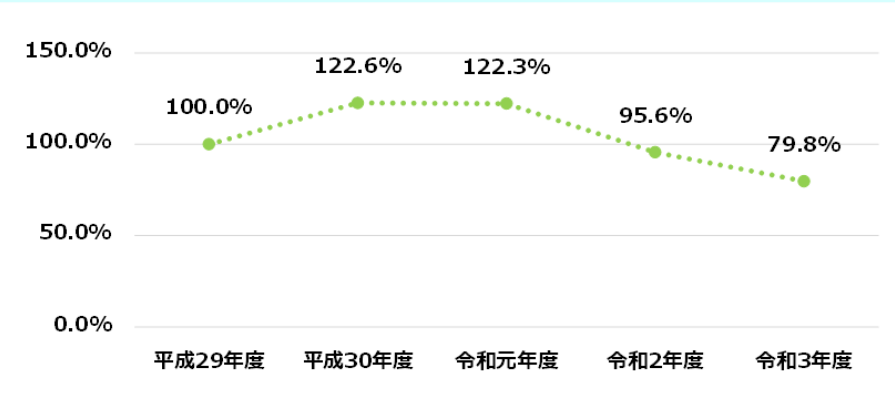
当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

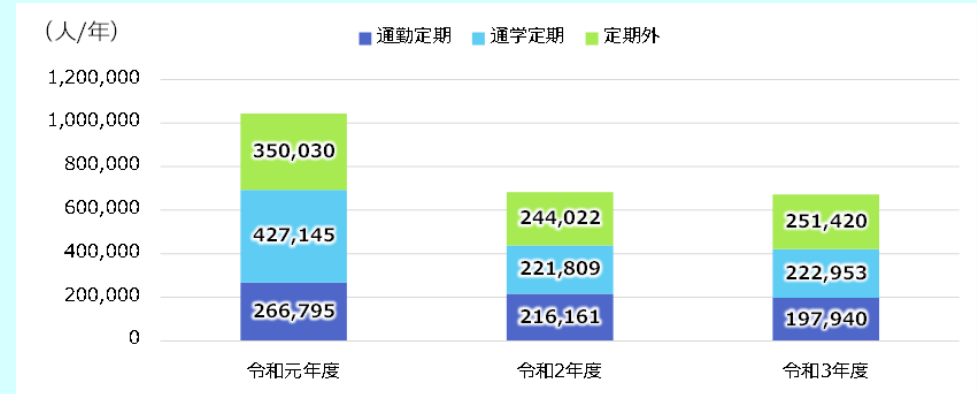
○関連事業者・施設等へのヒアリング調査(アンケート調査含む)

関連事業者・施設等へのヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、事業者や施設運営の視点からの公共交通ニーズや実態について把握した。

【タクシー・ハイヤー年間利用者推移】



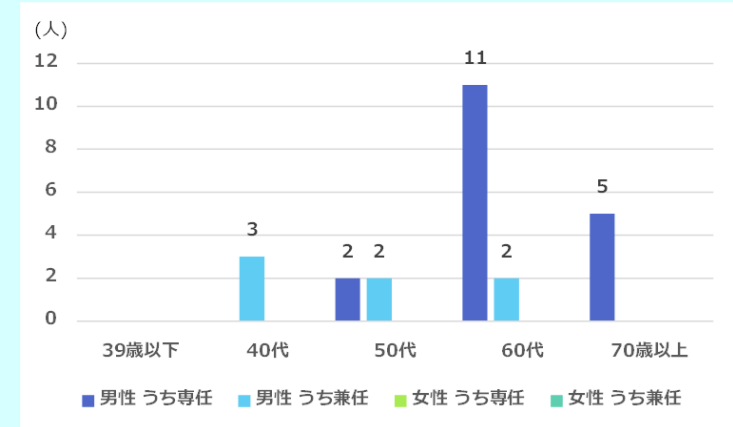
【JR当別駅年間利用者推移】



【スクールバス運行状況】

	系統数	運行日数 通学・下校	運行日数 その他目的	対象生徒数	一般混乗 利用件数
平成29年度	10系統	216日	204日	182人	206人
平成30年度	9系統	214日	195日	175人	249人
令和元年度	10系統	196日	192日	159人	281人
令和2年度	10系統	206日	132日	142人	174人
令和3年度	11系統	208日	123日	150人	49人

【バス事業者運転手年齢構成】



○地域公共交通利便増進実施計画素案作成
調査の結果を基に分析を実施し、利便増進案を検討中

○協議会の開催

利便増進案を基に素案を作成し、協議会での検討を経て、持続可能な地域公共交通のための計画として最終的にとりまとめる。

当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

今後、調査結果を基に施策を検討し、具体的な時期や方法を含めた素案を作成し、協議会の検討を経て、令和4年度末に当別町地域公共交通利便増進実施計画として最終的にとりまとめる。

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄